

No. 32	平成30年度 「地域子育て活動支援事業」 実施の内容
団 体 名	地域 楽しく アイビーナ
事 業 名	～ひと・まち・カラダ・ココロ～学びと気づき！親と子のサロン
実 施 期 間	平成30年9月～平成31年3月
事 業 実 績	「～ひと・まち・カラダ・ココロ～学びと気づき！親と子のサロン」の開催 内容：全国的に活躍されている講師をお招きして、学びと気づきのあるワークショップまたはイベントを開催する。 (1) 9月 ナースアウトmama fes ご飯会と講演会 来場者数 100 名 子育て講演会 講師：NP0 法人umiの家 代表 齋藤麻紀子 氏 遊び場：(一社) ブレースワーカー (2) 10月28日 禅ワークショップとお話会 参加者 15 名 佐藤良規住職をお招きして禅で心の持ち方を学ぶ。子育てについての講話。 (3) 11月27日 ヨガワークショップと子育てのお話会 参加者 17 名 黒澤真澄助産師をお招きしてのヨガとお産のお話会 (4) 12月9日 マインドフルネスワークショップとご飯会 参加者 16 名 佐藤良規住職をお招きしてイライラや怒りのコントロールを学ぶ。 (5) 1月 ベリーダンスワークショップとお話会 参加者 10 名 後藤友里氏をお招きして、ベリーダンスとママの美しさについてのお話会 (6) 2月9日 ヨガワークショップとお話会 参加者 17 名 田中千佐子氏をお招きして、ヨガと生物学的な子育てのお話 (7) 3月3日 禅とひもトレーニングワークショップとご飯会 参加者 12 名 佐藤良規住職をお招きして、禅とひもトレーニングのワークショップ
実 施 効 果 自 己 評 価	【実施効果】 ともに身体を動かすことで、身体も心も解れ、場の雰囲気がりフレッシュされた空間となった。参加者の距離がぐっと縮まり、ゆったりとしたコミュニケーションの場が生まれた。 子育て支援センターなどにも遊びに行くが、こんな場は初めてだと参加者の方から絶賛の感想をいただき、普段相談できないこともこの場なら相談ができ、日頃の子育ての役に立つから次回も参加したいとの声が多かった。 【自己評価】 本事業の目的である、人間関係の希薄化で孤立している子育て世代が出会い、共に学びあえる場として今後の発展が期待できることから、育児の不安やストレスを軽減し、安心して楽しい子育ての在り方を学ぶ場の提供が十分にできたと考える。 サロンを開催する度に、ママに喜んでもらえ沢山お話をしてくれて、自分自身の子育てと重ね合わせた時に、私自身もずっとこんな学びの場が欲しかったと心から思った。 当たり障りのない子育てのお話や誰かのせいにしたりの考えではなく、「今」繰り広げられている暮らしと子育てについて沢山の方と共有して楽しく暮らすために何をすべきか？みんなで考えていける新たな場を作ることができた。 活動を通じて更に人と人が深くかわることで、子育てや親子の在り方、女性の生き方などについて考えたり、子育て世代の健康の促進と孤立化、親子のコミュニケーションを解消して地域の活性化に繋げることで将来計画にある地域のサードプレイスの役割となれると考える。